



つづじヶ丘同窓会
関西支部発行
連絡先: 090-3167-2085
E-mail address:
boss@motoi.co.jp
URL: http://td.kansai.
sakura.ne.jp

第三十五号

令和7年度号(10月1日発行)

つづじヶ丘同窓会関西支部に出席して



北海道苫小牧東高等学校長

古御堂 徹

(元 北海道函館西
高等学校校長)

関西支部のみなさま、私は本年4月に函館西高校から現任教への転任を命じられました。この場を借りての、転任の挨拶となったことをお詫び申し上げます。函館西高校での2年間は、素直で心優しい生徒たちと、力量のある教職員と過ごすことができ、大変充実したものとなりました。また、伝統と歴史あるつづじヶ丘同窓会の各支部に出席させていただいたのも、とてもよい思い出となっております。

さて、昨年11月24日(日)に、関西つづじヶ丘同窓会にお招きいただきありがとうございました。その席でもお話しさせていただきましたが、ちょうど1か月前の10月下旬に見学旅行の引率で京都を訪れました。その時は、見学地であった清水寺等の

木々の葉は青々としており、まだ紅葉には早すぎました。そして、関西支部に出席した11月下旬は、すでに紅葉の見ごろは終わっていました。このような私の話を踏まえ、懇親会では参加者の一方から、「もう一週だけ同窓会が早かったら、北海道から来た甲斐もあったのにねえ」などと気を遣っていたことを覚えていきます。

関西支部同窓会の参加者は13名でした。テーブルを囲みながら話された話題の一つが、会員の高齢化に伴う会員数の減少でした。また、コロナ禍で境に同窓会への参加数も減少したと言います。参加者のお一方から「参加者が少ないからといって同窓会の開催を見送ってはいけません。一度なくしてしまうと、次の開催は難しくなってしまう」と話がありました。参加者が少なくても同窓会を続けていくこと、ここは同窓生の心の拠り所として存在し続けることが大切であるという話がとても印象に残りました。

同窓会が終了し、会場から外に出ると、四条大橋を行き交う、明らかにインバウンドの影響と思われる人の群れを見ました。先ほどの同窓会では会員や参加者の減少について話していたため、私は目の前の光景との乖離を興味深く眺めていたことを思い出しました。

最後に、「つづじヶ丘だより」への執筆の機会を与えていただき心から感謝申し上げます。関西支部同窓会への参加がよい時間であったことを振り返ることができました。そして、改めてお世話になりま

した。これからも皆様のご健康とご多幸を願っております。

ご挨拶



つづじヶ丘同窓会関西支部

会長 中谷 基

(西高20回生)

つづじヶ丘同窓会関西支部の皆さま、日頃より同窓会活動に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

この数年、社会全体が大きな変化を経験する中で、私たちの同窓会も会員の高齢化や参加者の減少といった課題に直面しております。しかしながら、先輩方が築いてこられた「心の拠り所」としての同窓会の意義は決して失われることはありません。小さな集まりであっても、顔を合わせ、母校を語り合うひとときは、私たちの絆を確かめ合う大切な時間でありま。

また、母校西高では後輩たちが学業や部活動に励み、今も変わらず青春を謳歌しております。その姿は私たちに勇気と希望を与えてくれます。

これからも関西支部が、世代を超えてつながりを育む場であり続けるよう、皆さまと力を合わせて歩んでまいりたいと存じます。どうか今後とも変わらぬご支援とご参加をお願い申し上げます。

特別企画

『つつじヶ丘同窓会「関西支部(関西つつじヶ丘同窓会)あるいはその前進の同窓会に入会した頃』

その8

この題目で、毎号2・3名の会員に順次原稿を依頼して掲載するものです。本年度はその8回目です。本年度につづき来年度以降も順次原稿執筆を依頼いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、原稿執筆要領は本会報のP4に示しております。ふるって応募ください。

本号では、武友加代子さん、富士博司さんの原稿を掲載いたしました。

つつじヶ丘同窓会関西支部に入会した頃

武友加代子 (西高21回生)

私がこの同窓会に出席してみようと思ったきっかけは、それまでは両親の居る函館へは毎年のように孫の顔を見せにという名目で帰省していましたが、平成18年に父が亡くなり、母は埼玉に住む私の弟(長男)の家に同居する事となり、実家の片付け、処分などをして、「帰る家が無くなったなあ」と寂しい思いをしていた頃です。

総会の案内はいただいていたのですが知り合いもなく、会報を読ませていただくのを楽しみにしているだけでした。しかし、「何か函館の空気感」を感じたくなり、思い切って参加のハガキを出しました。

その時の会場は梅田の今は無き大阪弥生会館でしたが、当時JR大阪駅周辺はグランフロント大阪の建設真っただ中で道がどうなっているやら分からず迷ってしまい、すっかり遅刻してしまいました。集合写真の撮影にも間に合わず恥ずかしい思いをしていると、当時の会長の富士昭一さんが暖かく迎

えて下さり、後に送っていただいた集合写真の上の方に丸く私の顔も載せて下さいました。

懇親会では参加者の自己紹介やお話しをお聞きしたり、お楽しみ抽選会だったのか参加記念だったのか忘れてしまいましたが、田端冴子さんが手造りの品を提供して下さい、今もそのミニポーチを使わせていただいております、当時の事をなつかしく思い出します。

話しはそれですが近年の関西のこの暑さです。住んで35年以上になりますが、夏の暑さにも慣れたと思っておりましたが、年齢のせいでしょうか身体に堪える日々です。

涼しい風の吹く函館への思いをつのらせているこの頃です。

卒業から半世紀、つつじヶ丘同窓会

関西支部ありがとう

富士 博司 (西高26回生)

函館西高校つつじヶ丘同窓会関西支部の皆さま、お久しぶりです。

この度、会誌「つつじヶ丘だより」執筆依頼を受け驚きと嬉しさと懐かしさの複雑な思いを持ちながらご依頼をお受け致しました。

私が初めて「西高つつじヶ丘同窓会関西支部」の総会・懇親会に出席したのは写真の記録によると平成11年11月14日でした。場所は京都の「ホテル日航プリンセス京都」で行われました。

平成11年は、関西勤務9年目の年でもありジェット機の機長昇格訓練が終了した年でもありよく覚えております。当時、私は日本エアシステム(JAS)現日本航空(LAL)のパイロットとして大阪伊丹空

港を拠点に国内各地を飛び回っておりました。そう40代前半のバリバリの頃でした。

丁度そんな時期に西高つつじヶ丘同窓会関西支部からご案内をいただいたのがきっかけとなりました。当時、私は、スケジュールフライト(定期便)や海外訓練に明け暮れていたため西高つつじヶ丘同窓会関西支部があることすら知らなかった訳です。卒業以来、初めての同窓会出席とあってその時は大変嬉しく思いました。

当時の関西支部の会長は、富士昭一さん(西高3回生)でした。その後、富士会長にはいろいろな面でご指導をいただき、楽しい時間を共有させていただきました。特に関西支部での理事会・総会・ゴルフ遠征や旅行・函館を想う会と感謝の念に堪えません。関西に来て郷土の話が出来る方と接することでもなかった私にとっては、とても懐かしく心強かったです。その時の記念写真が有ったのでとても懐かしく当時を思い出しながら思いのまま綴ることと致します。

40歳の秋、初めて総会に出席させていただきました。きは、こんなにたくさん先輩方が関西で活躍されていたとは改めて西高パワーの凄さを誇らしく思えたのでした。

そうそう、西高の黄金時代に在籍していた先輩の



方々だったからではないでしょうか。会場は、知らない人ばかりでしたが、美術の伊達先生との再会には驚きでした。母も高女出身でしたので親子2代、伊達先生にお世話になったのです。会場には、高女出身の方もたくさんおられたように思います。

一方、西高の方は、富士会長はじめユニークな先輩方がたくさんおられました。そんな中で優しくお声がけ下さったのが「宝来パン」三人姉妹の長女、田端冴子さんでした。特に一番下の祝(のり)ちゃんとは、幼なじみでしたのでプツンと緊張の糸が切れたのも束の間、司会者の方から私にいきなり乾杯の音頭のご指名が飛んできたのでした。

新顔は、乾杯の音頭を取るしきたりになつとるかからと橋本さん(西高5回生)ら先輩たちから手荒いご指導を受けたことも良き思い出です。

函館に帰郷して14年になります。函館もすつかりと変わり果てて観光の街となりました。人口もピーク時から12万人減少して現在23万人となり人口減少に歯止めがかからない状況です。市内の大学生の約9割が卒業後函館を離れるそうです。

観光地は整備される一方で朽ち果てた空き家、整備されない道路も多くなり人口減少により将来消滅都市に指定されているようです。このまま函館は消滅都市となってしまうのかが問われています。

このような状況の中、少子高齢化により道立高校の統廃合もありましたが、それでも西高パワーで校名が残る現在では、市内の公立高校では生徒数最大規模の1学年6学級となり学生は活気に満ちて勉学に部活にと青春を謳歌している姿は、地元新聞や報道メディアで時々紹介されております。私たちの頃は、1学年8クラスありましたから随分

と淋しくなつたものです。

最後に、卒業から半世紀、古希を前にして思うことは“母校ありがとう”、”関西支部ありがとう”という感謝の気持ちでいっぱいです。特に関西支部の皆さまには感謝の念に堪えません。皆さまの益々のご健勝をお祈りし結びと致します。

本会記事

《令和6年度総会の開催》

令和6年11月24日(日曜日)午後1時より、「つつじヶ丘同窓会」関西支部の総会および懇親会は京都市下京区四条大橋西詰 東華菜館本店において開催されました。

開催時に西高校長であった初参加の古御堂徹先生並びに特別参加の折田信一東京支部会長も併せて総勢13名で和やかに2時間余り歓談致しました。インバウンドの復活と共にマイクの利用が規制される中、皆自声を張っての自己紹介及び近況紹介、校歌や応援歌を楽しみました。同窓生の高齢化が進み、開催回数を重ねるにつれて参加人員が減少していくのは仕方がないとしても、2年に一度、校歌や応援歌を歌えるのは個人的には嬉しい時間となつております。

これまででは神戸、京都、大阪と開催場所を変えながら開催してきましたが、より集まりやすい場所という事で、2回連続で京都にて開催され、次回令和8年度は大阪で開催する事が決まつております。2年前はコロナ禍開け直ぐという事もあり、日本人観光客が多かつ

た京都市内でしたが今回は外国の方も多く観光客向けの薄いレンタル着物一枚で寒くないのかなと心配してしまう方も多かったです。

同窓会の特色上、新規会員を増やし続けていかないと高齢化が進んでいく一方なのは道理ですが、



令和6年度収支会計報告

自 令和 6年4月 1日
至 令和 7年3月31日

収入	金額	支出	金額
令和5年度からの繰越金	256,348	レンタルサーバー ライト サービス利用料	2,530
同窓会本部からの補助金	30,000	会誌「つつじヶ丘だより」800部 印刷代	15,950
受取利子	38	会誌送料 レターパックで 会本部へ @520 x 2	1,780
		東京・札幌支部へ @370 x 2	
		郵送料 会誌・総会案内状など 52通	8,270
		@110 x 11 @140 x 8 @180 x 33	
		郵送料 会誌など 勧誘用39通ほか 2通追加	4,580
		@110 x 38 @180 x 1 及び@110 x 2	
		返信葉書用切手 @85 x 43	3,655
		通信費、書類転送費、レターパックその他	2,040
		総会用名刺型名札ホルダー 20枚セット	899
		令和7年度への繰越金	246,682
収入 計	286,386	支出 計	286,386

「この関西で、というか東京以西で同窓生を見つけるのは至難の業です。」

今後の関西つつじヶ丘同窓会の会員を増やしていくために必要なのは、これまで以上に他支部のつつじヶ丘同窓会と協力をして口コミのネットワークを繋げていき、SNSも利用しながら年にひとりペースでも構わないので、地道に活動していくしかないかと考えます。

細く長くでも構わないので「つつじヶ丘同窓会」関西支部の活動を継続していきたいと思えます。

（半田ひさえ 記）
《幹事会より》

コロナウイルス症蔓延以後、幹事会の規模をコンパクトにした。現状の会員数であれば、総会開催年度以外は幹事会を開かなくてもメールと電話でのやり取りで充分である。どうしても必要な時はこれらの手段を用いて持ち回り会議も可能であろう。インターネットでのZOOM会議が頭を過ぎったが、これをすぐ使えそうなのは幹事のうち二人とオプザーバー一人の計三人のみである。どう見ても現実性に乏しい。

最近の会の主な活動は、「つつじヶ丘だより」の発行と会員へと同窓会本部、東京支部、および札幌支部への送付である。

編集後記

本号では、前校長の古御堂徹先生に原稿を書いて戴き掲載した。『本会記事』にも記載のように令和6年度の総会にご出席戴き、その時直接原稿執筆をお願いすることができ、快諾戴いた。

本校の校長あるいは元校長などの関係者の原稿を掲載するのは、我々の知る限り何十年ぶりかである。

これを契機に関係者の原稿を掲載したい。特別企画『「つつじヶ丘同窓会」関西支部(関西つつじヶ丘同窓会類はその前進の)同窓会に入会した頃』も、今年で8年目になる。

昨秋の総会・懇親会の二次会の席である方から「こんな下らない特別企画など、止めてしまえ。連続して掲載するのは無駄である」とのご意見。この企画者の一人として、渡りに船とばかり、「これに代わる代案を是非」と提案。しかし、無回答であった。このご仁にとつてはこのような記事には興味はないよ、執筆順が来ても書かないよと言うことらしい。これを酒の席で強弁したらしい。

ただ、このままでと執筆者数は、会員が増えない限り先細りである。会員の皆様には、順次執筆をお願いするので、よろしく。その他、随想などの投稿をお待ちしている。

(編集担当 半田ひさえ、中村浩)

特別企画の原稿執筆要領:

① 「関西つつじヶ丘同窓会」の総会に初めて出席した時期はいつ頃でしたか。「昭和・年、昭和・年頃」など具体的にお書き下さい。西暦でもかまいません。

② そのきっかけは、どんなことでしたか。

③ 会長は、どなたでしたか。

④ この会に出席した時の感想、思い出話などお書き下さい。右記の質問に沿って、箇条書き、あるいは、全体をまとめた文章でも結構です。

文字数は問いません。

以上